

激流（1952）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1952/10/23

【解説】

「霧笛」の谷口千吉が脚本と監督を務めた人間ドラマで、共同脚本は「わが一高時代の犯罪」の西亀元貞。「若い人」の山田一夫が撮影を務め「続馬喰一代」の伊福部昭が音楽を担当した。物語の舞台となるダム建設現場で実際にロケーションが行われている。

小杉俊介は技師として田瀬ダムの建設現場に配属され、飯場で働くリウの運転するトラックで事務所へやってくる。地盤のゆるみから現場では多くの犠牲者が出ており、また住居を失うことへの不安を抱く住民がいたり、金儲けのために工事を妨害する輩が出没したりと、工事は困難を極めていた。俊作は東京に残してきた恋人の陽子に思いを馳せながら計画を進めるが、その陽子は別れを告げるため彼に会いに来るのだった。

【クレジット】

監督 谷口千吉

製作 田中友幸

脚本 谷口千吉

西亀元貞

撮影 山田一夫

美術 北辰雄

音楽 伊福部昭

出演 三船敏郎 Toshiro Mifune

久慈あさみ

若山セツ子

田代百合子

島崎雪子

清水将夫

多々良純